

「深海には謎がいっぱい、でもごみも・・・」

概要： 市内小中学校の教員希望者が、海洋研究開発機構（JAMSTEC）を見学し、講演も聞いた。 小中学校教員



実施内容

1. **実施校** 市内小中学校教員希望者
2. **目的** みうら学・海洋教育研修会として設定し、教員の海洋に対する関心・意欲を高め、海洋教育を進める人材を育てる。
3. **内容** 海洋研究開発機構（JAMSTEC）の施設を見学したのち、しんかい6500の元パイロットの講演を聞いた。
4. **日時** 平成28年 7月8日（金） 13:30～17:00
5. **場所** 横須賀市夏島 JAMSTEC横須賀本部
6. **参加者** 市内小中学校教員希望者 13名
7. **指導者** JAMSTEC職員 小倉 訓 氏

当日の様子

○最初に、JAMSTECの概要についてのDVDを見た後、担当の職員（2名）の引率で施設を見学した。修理中の、しんかい6500の実物を見ることができた。運転席の狭さに驚いたり、潜航するのにも、浮上するのにも2時間半かかることを聞きその大変さを感じた。

○カップ麺の容器を使った、深海1000mの水圧実験も興味深く拝見した。

○しんかい6500の実物大のレプリカの中まで入ることもできた。

○その後、小倉氏の講演を聞いた。深海の生物の様子など、貴重な映像をたくさん見せていただき、参加者の、海洋に対する関心も高まったと思われる。

○参加者の声より「海、海底、深海を知るとは、夢を抱くことにもなると思った」「海底のごみの映像は、とてもショックだった。人間の生活はとても豊かになったけれど、自然を大切にすることは逆に小さくなっているのではと思った」